

# 簡易×ス型半割垂直工法

No.1

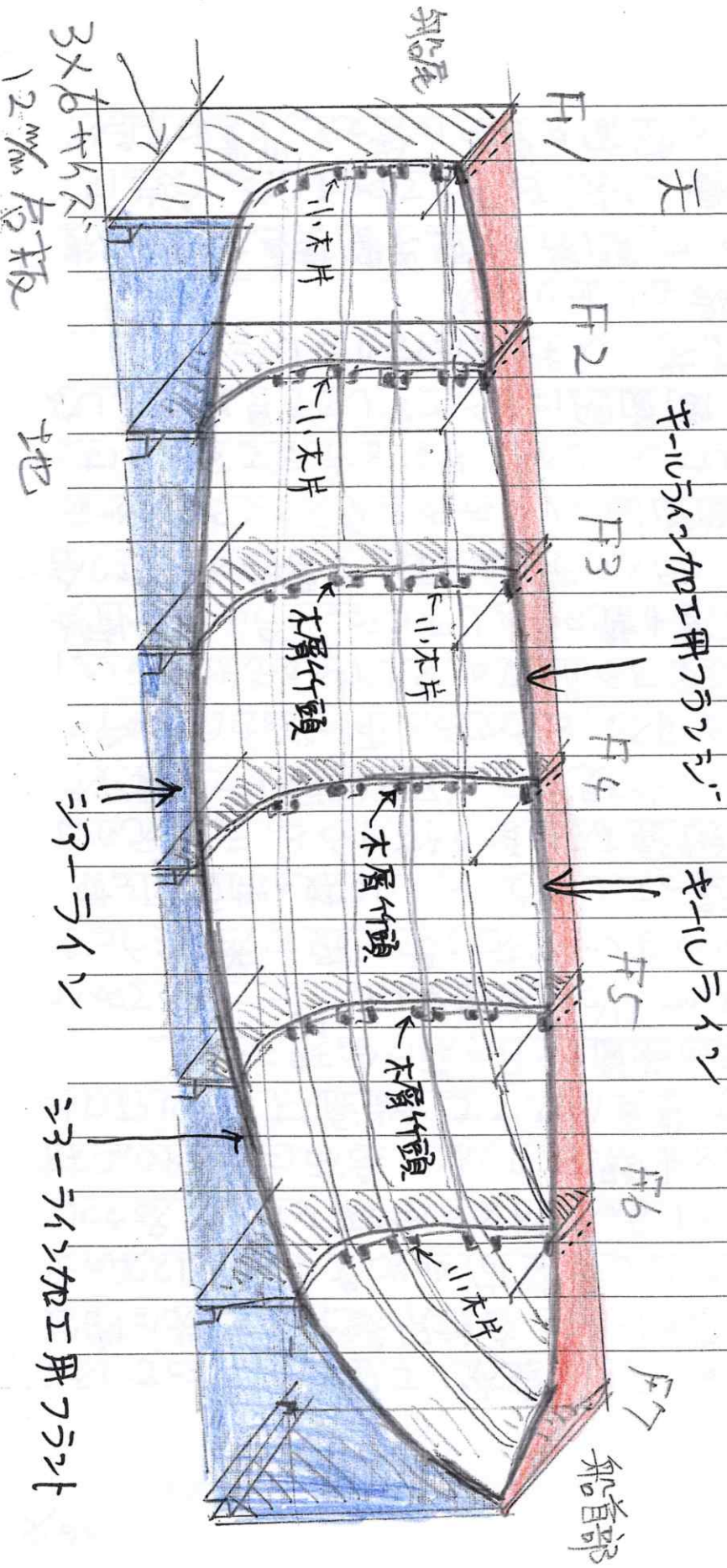
2020年11/16(月)の朝、ス/坪の船作りのシャッターを  
開けて、清掃作業をしていると、軽トラが止まって、  
高校の先輩が声掛けしてくれた。今年80歳になっ  
たそうですが、まだ元気に住宅設備業を営んで  
いるそうです。木工団地の理事長をしていた、T  
木工所が廃業したそうで、現在営業している  
のは、隣のIと木工さんだけになってしまった。  
1/14(土)に、ひたちなか市のT氏が手助いに来てく  
れて、TIKI-30の右舷用船体のユックピットを支  
える外フランジの追加積層を手助ってもらった。  
作業は、580R+300Mと2枚だけの積層であつたので  
2時に作業は終了したので、貴重な休みを手  
助いに来てくれた事に感謝して、冷たい飲み  
ものを手渡しして、早めによってもらった。

TIKI-30の船体を丸洗に搬出したら、花嫁  
の父の心境を又たっぷり味わう、悲しい(?)思い  
をしなければならぬ。長年の夢の日本一周用  
(?)横山9.8m(モーターセラー)を完成すべく、船体  
の製作を始める事を考えていると、気が紛れて  
生きがいを持つそうです。特別価格で入手  
した3&Mのセイルドライブもあるし、〈弥勒I〉の  
マスト・ブームも使わないと、特注のマストがも  
つたいたない(?)。神様は様々なシナリオを用  
意して、天は自ら助くる者を助く……』とか、早に

# 簡易X型半割垂直工法

No. 2

わかりやすくするためにタイトルの工法を15cmの定規1本と鉛筆だけでFに描いてみました。とりあえず「骨」を7枚にして、わかりやすくして、縦通材を4本とし、キール(竜骨)ラインとニコーライン(舷側)をわかりやすく、太書きにしました。



キブアツポ……』とか、夢の実現には急がないと時間  
 が無くなって来た様です。24年生れのG氏  
 は、リタイヤして那珂市で、米作りをしているが、午  
 前中、作業して、午後からは休憩して、体力を維持  
 しているそうです。11月8日の大洗のヨットレース  
 に同乗してくれ、1年ぶりの快走を楽しんでもらっ  
 た。G氏は、長年土浦の工業団地にあるボイラー  
 メーカーに勤務され、今年3月迄頑張って限界との  
 事でした。1/4(土)にT氏が手助いに来る前  
 に一人で作業して、TIKI-30の船台用の3mの軽  
 量鉄骨を4本、外に搬出した。鉄工所のトラックを  
 借りて、水戸と大洗に各々一人で降ろしたか、  
 何とか頑張れた。それから、あまり時間がたっ  
 ていないのに、4本移動したら、肩で息をする位  
 の情けない有様になってしまった。こんな事では、  
 横山9.8mの艇体を完成させる、エネルギーは  
 何処から工面しなければならぬのか、迷い  
 小畑を事になる。40年前に500万円投資して、  
 鉄骨スレートぶきの建屋を、ヨット専用工場に立て、  
 現在も御楽しみ中です。もともと成功した投資  
 でした。車や中古のヨットを買ったら、今の自分は  
 存在しない……。3間×7間の21坪で、  
 ミニトン2隻と30xオ1隻とTIKI-30のハルデ  
 ックのFRPx2型を作る事が出来た。そして

横山 9.8m のデッキが完成して宙吊りになっている。  
 今年中に TIKI-30 の右舷用船体を大洗に搬出  
 したら、ガランとした空間が出来る。 12% の 3  
 × 6 (90cm × 1.8m) サイズの合板を買って、各々し  
 ーアの船体の曲線を切り出し、合板に 30 × 40% 材  
 を取り付け、垂直に立てて、縦通材を取り付け  
 ば、三次元の曲面が目の前に出現する。

東京の S さんが、1/2 の御手紙で、「……やってみな  
 ければわからない次元の事を頭で考えようとする  
 から間違ってしまう。……10枚の断面図を並  
 べ、それに縦通材を取り付けると、三次元の曲  
 面が目の前に出現する。何度体験しても摩可不  
 思議な気がする。どうやら人間の脳力はその手の  
 情報を処理する能力が乏しいのかも知れない。」  
 何度も何度も読み返しました。今の世界情勢、  
 日本の社会、個人の苦悩、様々な要因が重なり合  
 っている。断面図にしてみると見えてくるものがある  
 かもしれない。しかし、それを手だてするのは、  
 難しい。断面図にあらせずしても見ようともしな  
 いのか。息苦しい社会になりました。

…… 後略」とあります。

苦肉の策で、簡易メス型半割垂直工法(以後  
 略して、半割工法)を考えてみました。今迄は  
 のびのびと空間を自由に使えて作業出来たが、

どうやら、艇の自作の成否は、場所の確保の様です。  
半割工法のメリットとデメリットを考えてみます。

- メリット
- ① 材料費と場所が半分でOK。
  - ② 作業線が1本なので、艇の周囲を歩かなくて済むので合理的。
  - ③ 簡易メス型にして、ポリ合板とセロテープを上手に使えばスピードアップ出来る。(100%の仕上りは望まない。)

- デメリット
- ① フレーム、縦通材等あいて、右用左用と2度使用するので、ポリ合板まで木ネジ、タッピングビス等できれいに解体出来る様に、手回を掛ける。
  - ② キール・フランジに左右取付穴を正確に開けないと、左右がズレるので、要注意。
  - ③ どの道、一隻だけ作って、半割型は取り壊れしめるが、もったいない。

と思われず。何時もの事だが、頭の中で考えている時が一番楽しいものです。レースもクルージングも、before と ing と after との3つの楽しみがある。半割工法のNo2のマンガ絵を描く前に、11/16(月)の朝食後、薬の袋を用いて裏側にフリーハンドでフレーム5枚のマンガ絵を書いて、アクリルが間違っていない事を確認した。

(外では  
 今日、10月中旬頃の陽気なので、自宅の八畳間で、昼食  
 後、本文を書き始めた。 TIKI-30の合板製木  
 型を作る時に使用した木片の残りが、捨てられな  
 いで取り置きしている。 未知の人のために、講談  
 社現代新書の四字熟語(島森哲男著)の240  
 頁に、「木屑竹頭」というのは、おかくずと竹の切  
 れかたで、大工仕事をしたときに出るくずである。これも  
 無用のものかと思うと、そうではない。これを廃物利用  
 した人物がいるのである。話は[世説新語]の政事  
 篇に見える。 晋の陶侃といえは、あの田園詩  
 人陶淵明の曾祖父にあたる人だが、苦勞して出  
 世したけにたいへんな節約家で、船を建造した  
 ときに出たおかくずを残らず取っておいた。誰もそ  
 のわけが分からなかった。のちに元旦の拝賀式に雪  
 が降って、晴れはしたものの庭がぐちゃぐちゃ。そこ  
 で陶侃は例のおかくずをまいた。おかげで無  
 事、式を済ませることができた。 また役所で  
 竹を使うときは、いつでもその切り株を捨てず  
 に山ほど取っておかせた。のち、桓温が蜀を征  
 伐するため船を建造したが、その際この竹の切  
 り株から竹釘をたくさん作って役立てたという。  
 ここから小さな廃物(しかしいつかは役立つかも  
 しれないもの)を「木屑竹頭」という。... 後略  
 口とあります。 以前も木屑竹頭のコピーを書  
 きました。覚えていらっしゃる方も多いと思われます。

R2

11/

16

 伊  
 藤